

1 議 事 日 程

[平成29年太宰府市議会 決算特別委員会]

平成29年8月31日

午後 2 時 00 分

於 全員協議会室

- 日程第1 認定第1号 平成28年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について
- 日程第2 認定第2号 平成28年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第3 認定第3号 平成28年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第4 認定第4号 平成28年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第5 認定第5号 平成28年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第6 認定第6号 平成28年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第7 認定第7号 平成28年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について
- 日程第8 認定第8号 平成28年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

2 出席委員は次のとおりである（18名）

委員長	門 田 直 樹 議員	副委員長	長谷川 公 成 議員
委員	堺 剛 議員	委員	船 越 隆 之 議員
〃	木 村 彰 人 議員	〃	森 田 正 嗣 議員
〃	有 吉 重 幸 議員	〃	入 江 寿 議員
〃	笠 利 毅 議員	〃	徳 永 洋 介 議員
〃	宮 原 伸 一 議員	〃	上 疆 議員
〃	神 武 綾 議員	〃	小 畠 真由美 議員
〃	陶 山 良 尚 議員	〃	藤 井 雅 之 議員
〃	村 山 弘 行 議員	〃	橋 本 健 議員

3 欠席委員は次のとおりである

な し

4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名（19名）

市長	芦 刈 茂	教育長	木 村 甚 治
総務部長	石 田 宏 二	市民生活部長	友 田 浩
総務部理事	原 口 信 行	都市整備部長	井 浦 真須己
健康福祉部長兼 福祉事務所長	濱 本 泰 裕	観光経済部長	藤 田 彰
教育部長	緒 方 扶 美	都市整備部 公営企業担当部長	今 村 巧 児
教育部理事	江 口 尋 信	総務課長併 選管書記長	田 中 縁

経営企画課長	高 原 清	福 祉 課 長	友 添 浩 一
高齢者支援課長	川 崎 純 一	国保年金課長	山 浦 剛 志
都市計画課長	木 村 昌 春	上下水道課長	古 賀 良 平
監査委員事務局長	渡 辺 美知子		

5 職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名（3名）

議会事務局長	阿 部 宏 亮	議 事 課 長	花 田 善 祐
書 記	力 丸 克 弥		

開会 午後2時00分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） ただいまから決算特別委員会を開会いたします。

本日の決算特別委員会は、認定第1号から認定第8号までについて、各所管部長からの説明にとどめたいと思います。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第1 認定第1号 平成28年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員） それでは、日程第1、認定第1号「平成28年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

総務部長。

○総務部長（石田宏二） それでは、認定第1号「平成28年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について」、その概要をご説明申し上げます。

資料といたしましては、事務報告書の決算の概要に沿って説明をさせていただきます。

なお、説明の都合上、決算額は千円単位とさせていただきますので、よろしくお願いたします。

初めに、1ページの会計別決算状況をごらんください。

平成28年度の一般会計の決算額は、歳入総額258億9,585万7,000円、歳出総額249億8,467万8,000円となっております。

参考に、これを前年度と比較いたしますと、歳入では3億7,016万6,000円、1.4%の増、歳出では9億6,473万9,000円、4.0%の増となりました。

歳入歳出差し引き額は9億1,117万9,000円の黒字となり、ここから繰越明許費及び事故繰越による翌年度に繰り越すべき財源2億8,110万3,000円を差し引きますと、実質収支額として6億3,007万6,000円の黒字決算となっております。

次に、2ページをごらんください。

こちらに普通会計決算の概略を載せておりますが、これからの説明につきましては、一般会計に住宅新築資金等貸付事業特別会計を含めた普通会計の数値になりますので、あらかじめご了承ください。

平成28年度の予算執行に当たりましては、あらゆる補助メニューを積極的に活用しつつ、限られた財源の重点配分と各種施策、事業の効果的、効率的な推進に努めたところでございます。その結果、2ページに掲げます決算の内訳となっております。

それでは、まず歳入からご説明申し上げます。

3ページをごらんください。

歳入全体の決算額は259億2,385万円で、前年度より3億7,733万7,000円、1.5%の増となっております。主な要因は、市税の増収によるところが大きく、また、障がい者通所支援給付費

負担金などの国庫支出金や県支出金が増額したことも要因となっております。

次に、市税の内訳をご説明いたします。

4ページをごらんください。

市税の決算額は81億5,273万9,000円で、前年度と比較しますと1億1,644万2,000円、1.4%の増収となっております。主な要因といたしましては、法改正に伴う法人税割の影響から法人市民税は減額となりましたが、民間企業の賃金ベースアップに伴う所得増加により個人市民税が大きく増収になったことや、固定資産税の増収、さらに歴史と文化の環境税が観光客の増に伴い増収となったことなどが上げられます。

また、5ページには一般財源の状況を載せております。

一般財源全体といたしましては156億2,375万7,000円で、前年度から4億6,425万1,000円、2.9%の減となっております。内訳としましては、先ほど申し上げました市税は増加をいたしました。景気停滞による影響から地方消費税交付金を初めとする国の交付金が大きく減額となったこと、前年度は総合体育館建設に対して総合運動公園整備事業基金繰入金がありました。今年度はなくなったことなどが減額の主な要因となっております。

なお、6ページには、歳入を自主財源と依存財源とに分けて掲載をしております。

依存財源である介護訓練等給付費負担金などの国庫支出金や県支出金が増加しましたが、自主財源であります市税やふるさと太宰府応援寄附などの寄附金の増加が大きかったことから、歳入合計に占める自主財源の割合が43.5%から44.2%に増加する結果となっております。

以上で歳入の状況の説明を終わらせていただきます。

次に、7ページ、歳出の状況をご説明いたします。

歳出全体の決算額は249億9,651万9,000円で、前年度より9億6,606万8,000円、4.0%の増となっております。内訳を目的別に見ますと、民生費では介護訓練等給付費、障がい者通所支援給付費、子ども医療費助成、私立保育所における保育所等整備交付金、学童保育所新築工事費の増額などにより4億4,955万9,000円、4.6%の増、衛生費が大野城太宰府環境施設組合負担金が減ったことにより9,640万6,000円、5.8%の減となっております。また、土木費は歴史まちづくり関連事業に伴う用地購入費が減ったことなどで6,241万9,000円、3.7%の減、教育費では史跡地公有化事業などが減となりましたが、一方で総合体育館関連建設工事や水城跡保存修理事業などで増加したこともあり、6億4,314万2,000円、14.8%の増となっております。

次に、8ページで、歳出を性質別に分けて分析をいたしております。

義務的経費のうち扶助費では、サービス利用者の増加により介護訓練等給付費、障がい児通所支援給付費などで2億2,548万5,000円、3.8%の増となりました。公債費が、総合子育て支援施設や総合体育館建設事業の償還が本格的に始まったことによりまして1億1,271万2,000円、4.8%の増となりました。

また、投資的経費につきましては、小・中学校の大規模改造事業や私立保育所における保育所整備交付金、また水城跡保存整備事業や総合体育館関連建設工事などで6億2,921万

1,000円、17.2%の増となっております。

その他の経費では、物件費が総合体育館施設の備品購入費や国の働き方改革による民間企業の賃金ベースアップに伴う指定管理料や委託料の増加などの影響で2億7,046万6,000円、8.7%の増、補助費等が大野城太宰府環境施設組合負担金が減ったことで2億863万4,000円、7.5%の減となっております。

以上で歳出の説明を終わらせていただきます。

次に、本市の財政状況についてご説明をいたします。10ページをお開きください。

10ページに経常収支比率の推移を載せております。

経常収支比率は、財政構造の弾力性を示す指標の一つでございますが、平成28年度は90.4%で、前年度から2.9ポイント上昇をいたしました。要因といたしましては、経常収支比率算定の分母となる経常一般財源等収入のうち、市税は増加しましたが地方消費税交付金を初めとする各交付金が大きく減少したことによるものと、分子となる経常経費充当一般財源のうち扶助費や公債費等が増加したことによるものでございます。

次に、11ページに健全化判断比率を載せております。

健全化判断比率は、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4つの指標から成ります。本市の平成28年度健全化判断比率は、一般会計等の実質収支が黒字であるため、実質赤字比率の表示はなく、公営事業会計も含めた実質収支の合計でも黒字であるため、連結実質赤字比率の表示もございません。また、一部事務組合までを含めた実質公債費比率は0.2%となり、昨年より0.2ポイント改善をいたしました。さらに、地方公社や第三セクターなどまで含めた将来負担比率は、市債残高などの将来負担額から充当可能財源を引きますとマイナスになりますので、負担比率の表示はありません。

したがって、11ページの表からもおわかりのとおり、太宰府市の財政状況は全て早期健全化基準及び財政再生基準以下であるため、健全化法に基づく財政健全化計画及び財政再生計画の策定は不要でございます。

12ページ及び13ページには、市債残高と基金残高の推移をグラフで載せております。

平成28年度の市債発行額は、前年度より3億2,962万円減少いたしましたが、平成28年度末の市債残高は前年度より6億3,474万円増加し、244億9,109万円となっております。

市債残高の約245億円を参考までに分析いたしますと、このうちの57%、約139億円は後年度に普通交付税として交付される額であり、また21%、約52億円が史跡地公有化の償還補給金などとして補助金で賄われます。よって、起債残高のうち市の実負担額、いわゆる真水部分でございますが、その真水部分は22%、約54億円ということになります。

一方、平成28年度末の基金残高につきましては、公共施設整備基金や地域福祉基金に積み立てを行いました。また、国保特別会計への補填財源として積み立てておりました財政調整資金を取り崩したことによりまして、前年度より8,170万9,000円減の44億9,702万7,000円となりました。

以上、簡単ではございますが、一般会計及び普通会計の歳入歳出決算についての概要を説明をいたしました。詳細につきましては、配付させていただいております決算書並びに事務報告書、監査意見書等を参照していただければと考えております。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第2 認定第2号 平成28年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第2、認定第2号「平成28年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

市民生活部長。

○市民生活部長（友田 浩） 認定第2号「平成28年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」、その概要をご説明申し上げます。

初めに、本市国民健康保険の加入状況についてでございますが、平成28年度末時点におきまして、加入世帯数は9,816世帯で前年度と比べ2.3%の減、被保険者数は1万6,151人で3.5%の減となっており、人口に対する国民健康保険加入率は22.5%となっております。詳細につきましては、事務報告書70ページを後ほどご参照ください。

それでは、決算の状況についてご説明申し上げます。

決算書の272ページ、273ページをお願いいたします。

歳入の決算額につきましては、歳入総額88億3,203万2,203円となっております。前年度に比べ3,530万8,726円、0.4%の減となっております。

次に、歳出であります。276ページ、277ページをお願いいたします。

歳出の決算額につきましては、歳出総額90億5,386万6,445円となっております。前年度に比べ5億1,237万3,079円、5.4%の減となっております。

歳入から歳出を引きました差し引き残額は2億2,183万4,242円の赤字決算となっております。平成27年度と比較いたしますと、4億7,706万4,353円赤字額が削減されております。これは平成28年度に国保の累積赤字削減のため、一般会計から5億円の補填を行った結果であります。なお、この歳入不足につきましては、平成29年5月31日付で専決処分させていただきました翌年度繰上充用金で補填をいたしております。

次に、歳入の主なものについてご説明いたします。

278ページ、279ページをお願いいたします。

1款国民健康保険税は、15億129万4,474円でございます。前年度に比べ31万8,430円、0.02%の増となっております。

280ページ、281ページをお願いいたします。

2款国庫支出金でございますが、16億9,461万5,484円でございます、前年度に比べ4,975万8,094円、2.85%の減となっております。

282、283ページをお願いいたします。

4款前期高齢者交付金につきましては、概算で交付を受け、2年後に精算を行う仕組みとなっております、平成28年度は平成26年度分の精算に伴う返還金6,086万4,387円がありましたことから、20億2,845万9,907円でございます、前年度に比べ5,116万7,281円、2.59%の増となっております。

次に、最下段の6款共同事業交付金でございますが、18億2,220万736円でございます、前年度に比べ1,710万7,066円、0.95%の増となっております。この共同事業交付金は、保険者が負担する医療費に対する再保険的な意味合いのものでございまして、各保険者からの拠出金を財源といたしまして、連合会から各保険者に交付金として交付されるものでございます。

284ページ、285ページをお願いいたします。

8款繰入金でございますが、10億7,766万5,674円でございます、平成28年度は財政安定化支援事業繰入金におきまして軽減世帯割合にかかる補正率変更による減等の影響から前年度に比べ2,727万7,948円、2.47%の減となっております。

次に、歳出の主なものについてご説明いたします。

292ページ、293ページをお願いいたします。

2款保険給付費でございます。50億4,617万7,564円でございます、前年度に比べ2,099万9,166円、0.4%の減となっております、歳出総額に占めます割合は55.74%となっております。

296ページ、297ページをお願いいたします。

3款後期高齢者支援金等につきましては、後期高齢者の医療給付費の現役世代の負担として拠出するものでございますが、9億669万4,520円でございます、前年度に比べ4,184万2,364円、4.41%の減となっております、歳出総額に占める割合は10.01%となっております。

300ページ、301ページをお願いいたします。

7款共同事業拠出金でございますが、19億563万7,041円でございます、前年度に比べ1,965万9,567円、1.02%の減となっております。

306ページ、307ページをお願いいたします。

13款前年度繰上充用金でございますが、6億9,889万8,595円でございます、前年度に比べ3億5,748万3,881円、33.84%の減となっております。これは、平成27年度決算赤字を補填するための充用金でございます、平成27年度までの累積赤字額ということになります。

以上が決算の概要でございますが、国民健康保険は、所得水準が低く医療費水準が高いという構造的な課題によりまして、非常に厳しい財政状況が続いております。この国民健康保険の

安定的な運営のため、平成30年度から都道府県が財政運営の責任主体となり、市町村と共同して国民健康保険事業を運営することとなっております。本市といたしましては、平成30年度の制度改革に向けて遺漏のないよう準備を進めながら、あわせて医療費の適正化事業や市民の健康づくりに資する取り組みなどを行い、国民健康保険の健全な運営に今後とも努めてまいります。

よろしくご審議いただきまして、認定賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第3 認定第3号 平成28年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第3、認定第3号「平成28年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

市民生活部長。

○市民生活部長（友田 浩） 認定第3号「平成28年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について」、その概要をご説明申し上げます。

決算書の310ページ、311ページをお願いいたします。

歳入の決算額につきましては、歳入総額11億5,395万7,851円となっております、前年度に比べ1,200万8,400円、1.1%の増となっております。

次に、歳出の決算額につきましては、歳出総額11億76万5,685円となっております、前年度に比べ1,487万5,138円、1.4%の増となっております。歳入から歳出を引きました差し引き残額は5,319万2,166円の黒字決算となっております。

次に、歳入の主なものについてご説明をいたします。

312ページ、313ページをお願いいたします。

1款保険料でございますが、9億481万7,847円でございます、平成28年度は保険料のマイナス改定が行われたものの、本市につきましては被保険者が前年度より372名増の8,765名に増加したこともあり、前年度に比べ1,962万5,830円、2.2%の増となっております。

次に、3款繰入金でございますが、1億9,181万7,820円でございます、前年度に比べ418万4,633円、2.2%の増となっております。

次に、歳出の主なものについてご説明いたします。

316ページ、317ページをお願いいたします。

歳出全体の99.8%という大部分を占めます1款総務費は、10億9,891万9,755円でございます、前年度に比べ1,383万9,548円、1.3%の増となっております。また、総務費の中でも後期高齢者医療広域連合負担金が10億7,746万4,756円でございます、総務費の98.0%を占めております。この広域連合負担金につきましては、事務費負担金、保険料負担金及び保険基盤安定

制度負担金が含まれておりまして、内訳につきましては事務報告書72ページに掲載をしておりますので、後ほどご参照ください。

以上が決算の概要でございます。

後期高齢者医療制度につきましては、高齢化に伴う被保険者の増加及び医療費の増加等によりまして、財政的にますます厳しくなる見込みであります。本市としましても、保険者である福岡県後期高齢者医療広域連合と連携して、今後とも適正な運営に努めてまいります。

よろしくご審議いただきまして、認定賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第4 認定第4号 平成28年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第4、認定第4号「平成28年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（濱本泰裕） 認定第4号「平成28年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」、その概要をご説明申し上げます。

決算書は321ページからとなっております。

まず、323ページの保険事業勘定からご説明申し上げます。

324ページ、325ページをお開きください。

歳入合計は47億56万1,952円となっております。前年度と比べ1億682万4,266円、2.3%の増となっております。

326ページ、327ページをお開きください。

歳出合計は46億1,007万4,669円で、前年度に比べ7,175万6,193円、1.6%の増となっております。歳入歳出差し引き残額は9,048万7,283円の黒字決算となっております。

次に、歳入の主なものにつきましてご説明申し上げます。

328ページ、329ページをお開きください。

1款保険料につきましては、65歳以上の第1号被保険者保険料でございまして、11億1,928万1,511円、前年度と比べまして3,180万1,659円、2.9%の増となっております。

次に、3款国庫支出金は9億4,212万384円で、前年度に比べ2,296万4,282円、2.5%の増となっております。

330ページ、331ページをお開きください。

4款支払基金交付金は、40歳から64歳までの第2号被保険者保険料でございまして、各医療保険者が健康保険料と一緒に徴収されます介護保険料を交付金として12億2,552万2,947円を受け入れており、前年度に比べ2,277万2,791円、1.9%の増となっております。

次に、5款県支出金は、6億5,627万7,640円、前年度に比べ451万4,522円、0.7%の増となっております。

332ページ、333ページをお開きください。

7款繰入金につきましては、全て1項の一般会計繰入金となっております、7億47万4,838円、前年度に比べ58万992円、0.1%の増となっております。なお、基金からの繰り入れや介護サービス事業勘定からの繰り入れは行っておりません。

次に、歳出の主なものにつきましてご説明申し上げます。

338ページ、339ページをお開きください。

1款総務費は1億7,878万5,357円となっております、前年度に比べ185万4,476円、1.0%の増となっております。

342ページ、343ページをお開きください。

2款保険給付費は43億4,029万482円で、歳出総額の94.1%を占めており、前年度に比べ4,746万5,161円、1.1%の増となっております。

350ページ、351ページをお開きください。

3款地域支援事業費につきましては、地域で自立した生活ができるよう支援する事業で、6,639万8,620円となっております。

続きまして、363ページからの介護サービス事業勘定につきましてご説明申し上げます。

364ページ、365ページをお開きください。

歳入合計は5,303万4,192円、歳出合計は3,449万7,980円で、歳入歳出差し引き残額は1,853万6,212円の黒字決算となっております。

366ページ、367ページをお開きください。

歳入の主なものとしたしましては、1款サービス収入としてケアプラン作成手数料の3,383万914円となっております。

368ページ、369ページをお開きください。

歳出につきましては、全額、1款総務費の3,449万7,980円となっております。

以上が決算の概要でございます。

よろしくご審議いただき、認定賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第5 認定第5号 平成28年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第5、認定第5号「平成28年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

市民生活部長。

○市民生活部長（友田 浩） 認定第5号「平成28年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について」、その概要をご説明申し上げます。

決算書の372ページ、373ページをお願いいたします。

平成28年度の歳入歳出決算につきましては、歳入総額が2,823万7,696円、歳出総額が1,208万5,911円となっております。歳入歳出差し引き1,615万1,785円の黒字決算となっております。

対前年度比で見ますと、歳入で1,633万6,782円の増額、歳出では1,049万4,758円の増額となっております。

歳入の増額理由につきましては、県の償還推進助成金と繰越金の増によるものでございます。

また、歳出が増額になりました主な理由につきましては、滞納整理における県の住宅貸し付けの法律相談を受けてある弁護士への相談委託料と基金積立金への繰り出しの増によるものでございます。

今後の滞納解消に向けた取り組みといたしましては、経済状況が厳しい中ではありますが、償還計画相談を行い、計画的、継続的な返済を促し、滞納解消に努めてまいります。また、返済困難者に対しては、県や委託弁護士と相談し、県の助成金制度を活用し、滞納整理を行います。

以上が決算の概要でございます。

よろしくご審議いただきまして認定賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第6 認定第6号 平成28年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第6、認定第6号「平成28年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（濱本泰裕） 認定第6号「平成28年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計歳入歳出決算認定について」、その概要をご説明申し上げます。

この特別会計は、太宰府市が事務局担当市となっております平成27年度、平成28年度の2年間に限り設けている特別会計でございます。

決算書は381ページからとなっております。

382ページ、383ページをお開きください。

歳入歳出の合計は、ともに6,055万3,942円となっており、歳入歳出差し引き残額も0円となっております。

歳入の主なものにつきましてご説明申し上げます。

384ページ、385ページをお開きください。

主な歳入は、1款1項1目の認定審査会共同設置負担金でございまして、筑紫地区4市1町からの負担金5,919万1,462円となっております。

次に、歳出の主なものにつきましてご説明申し上げます。

386ページ、387ページをお開きください。

主な歳出は、1款1項1目の細節002認定審査会関係費の19節事務局職員人件費負担金の1,340万3,402円、1款2項1目の細節001介護認定審査会費として審査委員の報酬、費用弁償が3,714万6,600円となっております。

以上が決算の概要でございます。

よろしくご審議いただき、認定賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第7 認定第7号 平成28年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第7、認定第7号「平成28年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

都市整備部公営企業担当部長。

○都市整備部公営企業担当部長（今村巧児） それでは、水道事業の決算概要についてご説明申し上げます。

水道事業の決算書は水色になります。

平成28年度につきましては、平成28年4月に発生した熊本地震において熊本市に対し応急給水を行いました。水道事業としましては年間を通じて安定的に水の供給を行うことができましたことから、決算は黒字となりました。

まず、4ページをお願いいたします。

建設工事の概況は、掲載のとおりでございます。参考として記載しておりますように、本年度は新設工事4件、布設替工事8件、配水施設の改良及び貯水施設のしゅんせつが完了いたしました。

次に、5ページをお願いいたします。

(1)業務量の表の2段目、年度末給水人口は5万9,744人で、前年度に比べて265人増加し、伸び率は0.4%となっております。

普及率につきましては、前年度から0.3%上昇し83.4%となっております。今後も引き続き、普及対策の取り組みは重要と考えております。

また、年間給水量は0.3%の増、その下の水道料金の対象となります年間有収水量は1.6%の

増となっております。

一番下の欄の有収率は1.2%の増となりました。これは、平成27年度においては寒波の影響による宅地内の漏水につきまして料金の減免を行ったことも変動要因となっております。

次に、供給単価は212.43円、給水原価は181.36円となっております。

次に、8ページをお願いいたします。

中段の企業債につきましては、平成28年度末現在で11億7,000万円余りとなっております。平成29年度の借りにつきましては、今のところ計画しておりませんので、このまま推移しますと平成40年度には完済となる見込みでございます。

続きまして、14ページをお願いいたします。

平成28年度の損益計算書でございますが、下から3行目に記載のとおり、当年度の純利益は2億4,882万9,703円となりました。

次に、16ページ、平成28年度の剰余金処分計算書（案）をごらんください。

未処分利益剰余金の当年度末残高は、一番右上の欄で約11億8,300万円余りとなっております。当年度純利益のうち、現金を伴わない1億7,000万円余りを資本金に組み入れ、現金化する7,840万円余りを建設改良積立金に積み立て、前年度と同額の9億3,470万円余りを次年度に繰り越ししております。

なお、17ページ以降に関係諸表を添付しておりますので、これは後ほどご参照のほどよろしくをお願いいたします。

説明は以上でございます。

よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第8 認定第8号 平成28年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第8、認定第8号「平成28年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

都市整備部公営企業担当部長。

○都市整備部公営企業担当部長（今村巧児） それでは、下水道事業の決算概要をご説明申し上げます。

下水道事業の決算書は黄色になります。

まず、4ページをお願いいたします。

建設工事の概況でございますが、五条雨水管渠、向佐野雨水管渠の築造工事など雨水整備のほか、北谷、内山、大佐野地区の污水管整備などを実施いたしております。

次に、5ページをお願いいたします。

口の業務概況でございますが、普及率は99.4%、水洗化率は97.4%、水洗化人口普及率は96.8%となっており、平成27年度の数値から微増をしております。

上から3段目の水洗化人口につきましては、前年度から207人増加して6万9,368人となり、伸び率は0.3%となっております。

整備率につきましては87.0%となり、今後とも計画的な整備に努めていきたいと考えております。

有収水量については、全体として0.3%の増となっております。

その下の使用料単価は172.34円、処理原価は113.48円となっており、平成27年度と比較しますと、平成28年度はやや減額という結果となりました。

次に、9ページをお願いいたします。

イの企業債については、前年度から約6億1,300万円減少し、年度末現在高は82億200万円余りとなっております。企業債の残高につきましては、今後も減少していく見通しで計画をしております。

それでは次に、16ページをお願いいたします。

平成28年度の損益計算につきましては、下から3行目をごらんください。当年度の純利益の額は約3億8,200万円余りとなっており、当年度未処分利益剰余金は4億6,300万円余りとなっております。

次に、18ページをお願いいたします。

平成28年度の剰余金処分計算書(案)でございますが、先ほどの当年度未処分利益剰余金が一番右上の欄に表示されております。このうち2億6,300万円余りを資本金に組み入れ、1億1,800万円余りを減債積立金に積み立て、その残りを次年度に繰り越しとしております。

なお、19ページ以降に関係諸表を添付しておりますので、後ほどご参照いただきますようお願いいたします。

説明は以上でございます。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長(門田直樹委員) 以上で説明は終わりました。

質疑につきましては、9月19日及び9月20日の決算特別委員会で行います。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長(門田直樹委員) 本日はこれもちまして散会します。

散会 午後2時39分

~~~~~ ○ ~~~~~